

○ カシュウ（何首烏）

語 源

Polygonum :ギリシャ語の「多い」(polys) + 「膝、節」(gonu)に由来し、根茎にふくらんだ節が多くあることにちなむ。
multiflorum : 「multiflorus=多数の花の」という意味。

和名の「ツルドクダミ」は、葉がドクダミに似ていて、つる性であることから。

生薬名の由来は何首烏という者の祖父が見つけた根を粉にして飲んで親子三代が長生きしたという伝説や、何公という王が服用したところ頭(首)の白髪が烏の羽のように黒くなったという説がある。

基 原

Polygonum multiflorum ツルドクダミ
タデ科 多年生草本

中国原産の植物だが、生薬の国産化を図った八代将軍徳川吉宗の命により中国から取り寄せられ、薬用に栽培が始められた。日本の風土に合っていたため、やがて山野に自生するようになった帰化植物。

薬用部分

塊根

産 地

中国（河南、湖北、貴州、四川、広西、江蘇など）

主な成分

アントラキノン類：クリソファノール、エモジンなど
その他：レシチン、スチルベン配糖体など

主な薬効

強心作用、血糖下降作用、抗菌作用、抗高脂血症作用、育毛作用、腸蠕動促進作用、肝障害抑制作用

代表的処方

漢方処方用薬である。貧血によるめまいや頭痛、不眠を治す処方に配合されている。

【当 帰 飲 子】

トウキインシ
冷え症のもの次の諸症：慢性湿疹（分泌物の少ないもの）、かゆみ
（処方内容） 当帰／地黄／芍薬／荊芥／川芎／黄耆／蒺藜子／何首烏／防風／甘草

【七宝美髯丹】

シチホウビゼンタン
虚弱体質や老化現象に用いる、元気が衰えて、白髪や脱毛が見られ、足腰が弱っているものに用いる。
（処方内容） 何首烏／茯苓／牛膝／当帰／枸杞子／菟絲子／補骨脂

【首 烏 片】

シュウヘン
滋養・強壯のほか、緩下薬や降圧薬としても用いる。
（処方内容） 何首烏

文献報告

【前立腺肥大抑制作用】

5alpha-reductase inhibitory components as antiandrogens from herbal medicine

J. Acupunct. Meridian. Stud, 2010, 3, 116-8

【肝保護作用】

Drug-Induced Liver Injury: Twenty Five Cases of Acute Hepatitis Following Ingestion of *Polygonum multiflorum* Thunb

Gut. Liver, 2011, 5, 493-9

※参考文献： 「生薬単」 「日本薬局方」 「漢方のくすりの事典」 「日本薬草全書」 「和漢薬の事典」

⚠ この資料は業者間取引用の説明資料です。一般消費者の方への販促資料としてはお使いにならないようお願いいたします。



健やかな未来を創る自然の力
福田龍株式会社

（お問い合わせ） 〒530-0047大阪市北区西天満1-5-11
TEL：06-6364-5861 FAX：06-6364-6562
URL：www.fukudaryu.co.jp



photo by Fanghong CC-BY-SA, from Wikimedia Commons

